

洲崎パラダイス 赤信号 (1956)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 81分
初公開日 1956/07/31
公開情報 日活

【解説】

「幕末太陽傳」の川島雄三監督が、東京・州崎遊郭へと繋がる橋のたもとにある飲み屋を舞台に、そこに入り出る人々の姿を決して飾ることなく、しかし温かい眼差しで描いた傑作ドラマ。両親に結婚を反対され上京してきた義治と蔦枝。ひょんなことから州崎遊郭入口にある一杯飲み屋の女将の世話に。蔦枝はそのまま飲み屋を手伝い、義治もまもなく近くのソバ屋に働き口を見つけるが……。三橋達也が、優柔不断でどうしようもないダメ男ながらどこか憎めない義治を見事に好演。川島監督が、自身の作品で最も好きな1本と語る映画。

【クレジット】

監督	川島雄三	
製作	坂上静翁	
原作	芝木好子	
脚本	井手俊郎	
	寺田信義	
撮影	高村倉太郎	
美術	中村公彦 [美術]	
編集	中村正	
音楽	真鍋理一郎	
助監督	今村昌平	
出演	新珠三千代	蔦枝
	三橋達也	Tatsuya Mihashi 義治
	轟夕起子	お徳
	植村謙二郎	伝七
	平沼徹	和男
	松本薫	良男
	芦川いづみ	玉子
	牧真介	信夫
	津田朝子	初江
	河津清三郎	落合
	加藤義朗	落合の店員
	冬木京三	そば屋の主人
	小沢昭一	三吉
	田中筆子	
	山田禅二	

菊野明子

桂典子

加藤温子

隅田恵子